

~ 道州制」に秘められた思惑 ~

道州制は究極の地方分権か、自治の破壊か?

2月議会代表質問での答弁で、小池市長は合併問題について、伊豆の入り口として3市1町の合併も考えられるが、市民の間には合併に向けた熱意は高まっていない。合併には大変なエネルギーが必要だ。小さな合併を繰り返していると道州移行期に合併のエネルギーが磨り減ってしまふ。道州制をにらみながら、その時は一気に政令指定都市を目指すと考えているとの話で、道州制への期待をうかがわせる答弁だった。道州制は果たして究極の地方分権か、それとも地方自治の破壊か?

小泉政権下、2001年6月、経済財政諮問会議はいわゆる骨太方針の中で、個性ある地方の競争、自立した国・地方関係の確立」として次の6点を掲げている。これらで国が地方に過度に干渉し、財源も手当し、財政赤字が膨張した。個性ある地域の発展、自立の精神と独自の財源に依存せず、自立に向けた市町村の再編を促す。国の役割は国民に対する最低限の行政サービス、それ以外は地域で住民負担。

国から地方への財源移譲と補助金・交付税縮小、地方財政の健全化。これ等の方針は、「官から民へ」「国から地方へ」という掛け声で、小さな政府、民営化、規制緩和、市場原理による企業活動の活性化、労働コストの

削減、自助努力などの考えが貫かれており、小泉改革の新しい自由主義的政策が明確に示されている。その考えの総仕上げが究極の構造改革、道州制と見ることが出来る。小泉政権下で本格的な自治体再編として道州制が持ち出された。

道州制導入は戦後60年間続いた自民党を中心とした政治支配の行き詰りを打破し、06年2月に提出された

第28次地方制度調査会の答申では、道州制は国と地方の政府を再構築するもので、地方分権を加速させ、国家の機能を強化し、国と地方を通じて強力な効率的な政府を実現するための有効な方策となる可能性を有している」としている。また、現行の都道府県については、その役割を市町村と道州へと解消し、府県を廃止、行政コストの大幅削減を目指すとしている。



三島市で食育基本条例が制定される運びとなった。行政側から一月議会での条例案が提案された。それによると、近年、社会情勢が著しく変化し、栄養の偏り、不規則な食事に起因する生活習慣病等が増加。一方、食の海外依存、食の安全や伝統的食文化の衰退などの問題が生じている」として、条例制定の動きとなった。全国的には自治体での条例化は二十数例あるが、県下では初めてのこと。

今回の三島市での条例化は国の食育基本法を受けての動きであるが、本来、法律や条例は人が社会的生活を営む上での取り決めや態度を定めるもの。条例制定の動きとして、食の確保や安全に関して、三島市で

食育基本条例制定、警署が食育を包囲するかも? 今回の条例案を見ると、極めて個人的領域である食生活のあり方や食における好みや価値観などの事柄まで、条例で定める必要があるのか疑問にも思ふ。しかし、最近の若い世代も増えている。彼等が

代の食の乱れはさまざま。いものがあるという。食事を食べるのが面倒なので、スナック菓子や清涼飲料水を食事代わりに子供に与える親がいるという。そんな状態で、市当局も止むにやまれず条例化に踏み切らなければならない。基本理念では、日本の伝統的な食文化、地域の特性を生かした食生活等に配慮する...などが謳われている。昨今、三島に住む外国人も増えている。彼等が

な国の債務も移管するとされており、バラ色の売り言葉どおりになるか甚だ疑問である。道州制が限りなく連邦制に近いものになると、現行憲法の枠内に収まらない問題が多数出てくる。また、政府・財界は改憲と道州制をセットにして持ち出すとしてい

浜岡原発4号機では、二〇一〇年よりプルサーマルの開始が予定され、この三月にはフランスからモックス燃料が到着予定。近隣地域(掛川、牧之原、菊川)も受け入れを決定しました。プルとはプルトリウム、サーマルとは軽水炉(普通の原発の炉)のことです。原発で使い終わった核燃料中のプルトリウムを取り出してウランと混ぜMOX(モックス)燃料にして、燃やします。

谷川俊太郎&覚 和歌子 写真映画「ヤチヤカ」と朗読会 (於)三島市民文化会館ホール 4月17日(金) PM 6:00~

短歌 きざし 窓近く春のきざしの卓上にエチオピアからの「コヒト」届く。ガザの子の放心の目を背に受けて記事読みし一日よやく喜ばれる。今を識る今を感じる今怒る辺見庸のことばの深き。胸うちの水の器が少し濡れわが観覧車を動かす。

時事川柳 支持率は発言よりもブレが無い。泥酔を世界へ晒す警報機。小泉の乱に冷めてる風見鶏。政権がしどろもどろの千鳥足。友人に社長の嵩を「コヒト」され。糸口が辞職有りきで通らない。

伊豆市民劇場 第315回例会 前進座公演 さんしょう太夫 2009年4月3日(金) 開演/18:30 終演/21:10 作/ふじたあさや 演出/香川 良成 演出/小林 祥子・杉本 雅代・浜名 実 説経節の節にのせて、「さんしょう太夫」の世界が、今を生きる私たちの前に新鮮な姿を見せてくれます。連絡先: 975-5455 (事務局) 三島市大宮町1-4-30 樺ビル101

児童文学を語る会「はとぼつぼの会」一堂に会して楽しいひと時を! 日時: 3月28日(土)12時~ 会場: ギャラリー&カフェ田(でん) (バス: 東海病院前下車) 電話: 975-1758 内容: 1.文芸三島第31号の感想 2.「はとぼつぼの会」活動・感想 会費: 1000円(軽食代) (申し込みは3/23まで) 連絡先: 975-5775(渡辺) 971-3348(山口)

シマサイコ(薬草)を広める会 誰でも どこでも 簡単に育てられる 種は当日配布します 日時: 3月29日(日)13時半から 場所: 三島市生涯学習センター 研修室 内容: 薬効・育て方 講師: 石渡重夫中土狩薬局店主 経験談: 藤原 美智子さんほか 問合せ: 大沼 055-971-4936

3月19日(休)午後6時30分~ 川口 創弁護士講演会 自衛隊イラク派兵差止訴訟弁護団事務局長 イラク派兵違憲判決を どう生かすか どう生かすか会場: 三島市生涯学習センター 3F 講義室 参加費: 無料 主催: 「憲法を守る」三島連絡会 連絡先: 055-975-2855(加土井)

手紡ぎ 手織り 草木染め うさとの服用 成真寺 3月27(金)-29日(日)10:00~18:00 タイの女性が自由に織った素朴な布 自然の中でほっと心がやすくなる... 会場: 成真寺 連絡先: 090-4116-2869 お問合せ: 090-6331-5663 千の風久保田直子

原発はいらない まやかのサイクル ~超危険なプルサーマル~ みしま原発を学ぶ会 プルトニウムは毒性が強く、一グラムで五〇万人を肺がんにできるというわけており、なかでもプルトニウム239は放射能が半分に(半減期)の二万四千年かかります。モックス燃料を原子炉で燃やした後の最終処分方法も未解決です。

親交の厚い、現代の日本を代表する詩人、谷川俊太郎。写真映画「ヤチヤカ」は、二人の詩人が共に命を吹き込んだ奇跡の映像物語のこと。この上映&朗読会は、覚和歌子さんの友人で活動仲間であった修善寺在住の勝呂希枝子さんらが企画したものだ。

短歌 きざし 窓近く春のきざしの卓上にエチオピアからの「コヒト」届く。ガザの子の放心の目を背に受けて記事読みし一日よやく喜ばれる。今を識る今を感じる今怒る辺見庸のことばの深き。胸うちの水の器が少し濡れわが観覧車を動かす。